

質疑応答の状況（要旨）

質 問 ・ 意 見	回 答
<p>○総合評価の変更点について</p> <p>Q 1 技術提案型の技術提案項目の点数を160点から170点に変更しているのはなぜか。</p> <p>Q 2 昨年度の同時期に比べると契約件数、金額が少ないようだが。</p> <p>1 高松市高松町口径 75, 100, 200mm 配水管更新工事</p> <p>質問・意見なし</p> <p>2 高松市中山町口径 75、100 mm配水管更新工事 (意見)企業の規模が大きいほど、受注しやすいと思う。地元企業を育てるという意味でも、零細、新規企業にもチャンスを与えるような仕組みが必要だと考える。</p> <p>3 三豊市三野町県道詫間琴平線配水管更新工事</p> <p>質問・意見なし</p> <p>4 小豆島町県道寒霞溪公園線配水管更新工事（舗装工）</p> <p>Q 1 高松市の業者は辞退したとのことであるが、島外の業者が受注した案件はあるのか。</p> <p>Q 2 競争性を確保するという観点から、高松市内の業者も含めて選定しているが、実質的には機能していないのではないか。発注方法を工夫する必要があるのではないか。</p> <p>5 府中湖環境整備工事(除草)(その2)</p> <p>Q 1 工事(その1)の指名業者が資料に含まれていないのはなぜか。</p> <p>Q 2 入札書不着とはどういうことか。</p> <p>Q 3 入札書不着は多いのか。</p> <p>Q 4 入札書不着にペナルティはあるのか。</p>	<p>A 1 技術提案の配点と、その他の項目の配点の合計比率を1:1とする規程に基づき、今年度、その他の項目の配点を変更したことによる。</p> <p>A 2 今年度は規模の大きな工事が多いため、準備期間を要した。今後、契約金額は増えると考えている。</p> <p>A 1 地元企業育成の観点から、小さい規模の企業でも受注ができるように工事を発注しているところであり、今後も考えていきたい。</p> <p>A 1 無かったと記憶している。</p> <p>A 2 競争性を確保した上で指名競争入札を行えるよう考えていきたい。今後の検討課題としたい。</p> <p>A 1 工事(その1)は坂出市内の工事であり、中讃BCの業者から指名している。</p> <p>A 2 入札辞退届の提出がないことをいう。</p> <p>A 3 規模の小さい工事では多少あるが、それほど多くはないと記憶している。</p> <p>A 4 ペナルティはない。</p>